

寒い冬がやってきました👩

呼吸器病対策をしっかりと！

治療より予防
が大事！

昨年の暖冬に比べ、今年は一段と冷え込む冬になりそうですね。寒暖の差があると牛も人も体調を崩しやすくなりますのでみなさまご注意ください。



対策その1 ワクチン接種

母牛への注射

①寒暖差が大きくなる前 ②他の場所へ移動する前 ③初乳を介した予防目的で分娩前

子牛への注射

①移行抗体が消失する前 ②導入前・移動前・離乳前 ③寒暖差が大きくなる前に行います。

目的	一般的な名称	主な効能効果
ウイルス	牛RS生	RSの予防
	5種混合生	IBR、BVD1、PI3、RS、AD7感染症の予防 【妊娠牛不可】
	6種混合生	IBR、BVD1、BVD2、PI3、RS、AD7の予防 【妊娠牛不可】
	6種混合生・不活化	IBR、BVD1、BVD2、PI3、RS、AD7の予防 【妊娠牛可】
	5種混合不活化	IBR、BVD1、BVD2、PI3、RSの感染予防 【妊娠牛可】
細菌	鼻腔内噴霧型	IBR、PI3・RSの予防（局所免疫）
	マンハミア不活化	マンハミア・ヘモリティカによる肺炎予防
	ヒストフィルス・パスツレラ・マンハミア混合不活化	ヒストフィルス・ソムニ、パスツレラ・ムルトシダ、マンハミア・ヘモリティカによる肺炎の予防

対策その2 消毒、清掃

病原体の感染機会を減らす方法として消毒は最も効果的な方法です！消毒剤の効果を上げるには

- ①ふん尿などの有機物をブラシ等で取り除く！
- ②冬場の低温時は40℃前後のお湯に消毒剤を溶かして使用！低温は消毒効果減↓
- ③消毒剤は使用説明書に記載されている濃度を守りましょう！濃すぎはコスト増↑

★消毒後は「ドロマイド石灰乳塗布」がおすすめです。病原体の封じ込めと消毒効果はもちろん、塗布面が真っ白になるので清潔感が出る、明るくなる、汚れが目立つなどの効果もあります(・ω・)ノ

対策その3 保温しながら換気！

牛舎を密閉すると、ふん尿からのアンモニアガスが溜まりやすく、子牛の気管や肺などに障害を起こし、そこに細菌やウイルスが侵入して呼吸器病の発生につながります。冬場でも新鮮な空気が吸えるように、天気の良い日中だけでも思い切って窓を開け新鮮な空気を取り入れましょう。

保温対策は

- ①出生子牛は保温！大事！室温13℃以下だと体温が奪われ、体温が1℃下がる毎に免疫力低下↓
- ②腹冷えの防止！ヒーターや保温マット、ベスト等の活用を！寝床は十分な敷料を投入！
- ③すきま風の侵入防止を！ビニールシートや毛布やコンパネで直接風が入らないように！



あったか〜い♡

